



目標2
福祉を担う心豊かな
人づくり

- 担い手の育成
- ボランティアの育成・活用



目標1
みんなで支える
地域づくり

- 連携体制の充実
- 活動の場の充実
- 地域で取り組む防犯・防災対策の充実
- 生活困窮者自立支援対策の推進
- 子どもの貧困対策の充実

基本理念

思いやりをもってお互いに
助け合い、人と人がつながる
やさしい都市を目指します。

目標3

すべての人にやさしい
福祉のまちづくり

- バリアフリーのまちづくり
- 相談支援・情報提供体制の強化
- 権利擁護の仕組みの充実



チュイシーセンターの役割

- ①「福祉保健に関する市民相談に応じ、関係機関との連絡調整を行うこと
- ②「地域支え合い活動委員会」の充実を図ること
- ③「まちでニッコリあいさつ・声かけ運動」の推進に関すること
- ④ボランティア活動の育成に関すること
- ⑤地域福祉の推進に関すること

子どもの貧困対策の充実

生 生活困窮世帯の子が将来的に生活困窮とならないよう、支援に向けた体制づくりや居場所づくり、学習支援等を行い、貧困の連鎖を防止します。

高 校受験を目指す中学生への通塾支援や、ひとり親家庭の子どもへの学習ボランティア事業等、学習のサポートをしていきます。

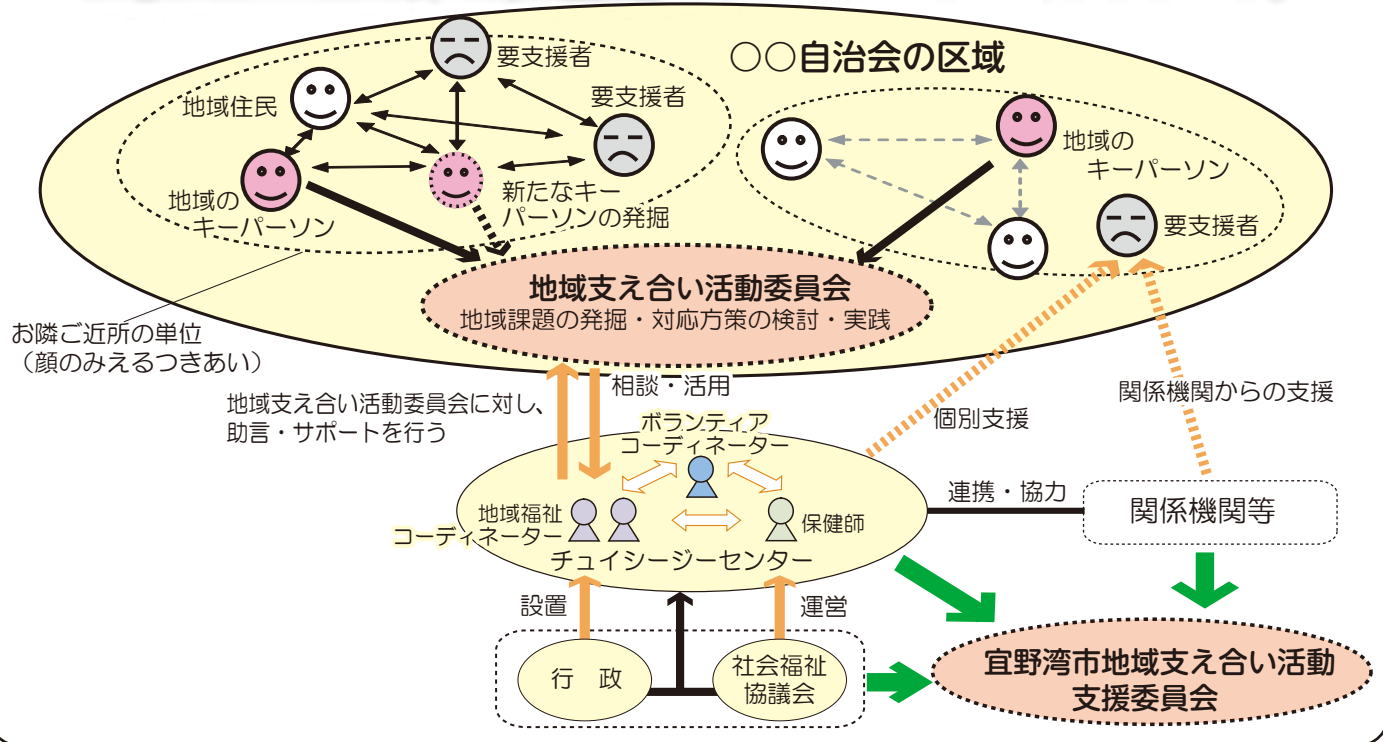
生活困窮者自立支援対策の推進

生 生活困窮者の自立促進に向け、相談支援や自立に向けた支援プランの作成を行います。

住 まいの確保に向けて、給付金（家賃相当額）による経済支援や母子生活支援施設の設置を図ります。施設が整備されるまでの間、先行的な取り組みとして、低廉な家賃で住まいを提供し、併せて生活支援を総合的に行っていきます。

一 時的な生活支援をはじめ、関係機関との連携により就労支援を行うなど、生活の安定に向けた支援を行います

地域福祉の推進体制(宜野湾市チュイシーセンターネットワーク)



第三次宜野湾市

地域福祉計画

私たちが住む「地域」において、すべての人が生き生きとした生活ができるよう、お互いに助けたり、助けられたりする関係を一緒に築いていくための計画です。



チュイシーセンターの心で創る
人と人がつながるやさしい都市ぎのわん

「チュイシーセンター」とは

沖縄の方言で、自分の能力の範囲で思いやりをもってお互いに助け合うことをいいます。

「地域福祉」とは

私たちが住む「地域」において、すべての人が生き生きとした生活ができるよう、お互いに助けたり、助けられたりする関係をみんなで一緒に築いていくことです。

「計画策定」の背景

地域の課題も多様化し、公的なサービスのみにて全てを補うことが難しい状況になってきている中、市民と行政が連携・協働し、共に支え合う仕組みを構築し、地域福祉を計画的、総合的に推進していくためです。

「計画期間」

平成28年度から平成32年度までの5か年計画とします。

重点プロジェクト

社会経済情勢が大きく変化し、経済的な問題で困っている方や生活や就職のことで悩んでいる方が増えています。また、子どもの貧困が顕在化し、大きな社会問題となっています。

「生活困窮者自立支援法」や「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を踏まえ、生活に困窮する市民の自立促進や貧困の連鎖防止に向けた対策に取り組んでいくことが求められています。

これらの推進のためには、地域での支え合いの仕組みが基盤となります。そのため、地域の相談や連携に取り組んでいるチュイシーセンターを充実強化させ、地域での支え合いの体制づくりを充実させていくとともに、生活困窮者等に対する支援の取り組みとの連携・波及に努めます。

また、生活困窮世帯等が支えられるだけでなく自分ができる範囲で地域に貢献していくなど、相互に支え合う地域社会づくりをめざしていきます。

